

児童 2年男子1名 3年男子1名 3年女子1名
4年女子1名 5年男子1名 6年男子1名 計6名
指導者

1 単元名 読んで、見て、作ろう

2 児童と単元について

(1) 児童について

本学級には、2年生1名（A男）、3年生2名（B男、C女）、4年生1名（D女）、5年生1名（E男）、6年生（F男）の知的に遅れがある児童6名が在籍している。平仮名を習得中の児童や自分の学年で習った漢字を使用して簡単な作文を書くことができる児童など、到達内容は様々である。そのため、児童の実態に応じた個別の内容による学習を中心に行っている。また、徐々に交流での学習形態に慣れるため、2～3人のグループ学習や一斉学習の形態を取ることもある。

児童は、これまで個別、または2～3人のグループ学習などで、文を読んで5W1Hを読み取る学習に取り組んできた。また、「紹介ブックを作ろう」の学習では、一斉学習の形態をとり、本校職員の紹介文から大切な要素を読み取る学習に取り組んだ。そして、例文を参考に、交流学級担任の紹介文を書く活動にも取り組んだ。昨年度までの「日記を書こう」の学習では、みんなでボーリングやかかるた取りを行い、その様子を日記作文に書く活動にも取り組んだ。

5W1Hを読み取るプリント学習は、個別の内容に自分で取り組むことができるようになってきている。改行の途中で答えがあるとき、2行にわたる文の中から目指す言葉を見つけることは、難しいことがある。作文の学習では、長く書こうとして何度も同じ内容を繰り返し書く児童や、自分で考えず教師に頼ろうとする児童がいる。

単元にかかわる児童の実態について、日常の観察から次のようにとらえた。

児童	「読みとること」「書きあらわすこと」にかかわる様子	
A男 2年	読みとること	1～2文の簡単な漢字仮名交じり文を読み、「だれが」「何を」「いつ」「どこで」を読み取ることができる。
	書きあらわすこと	絵を見て、2～3文字の物の名前をひらがなや片仮名で書くことができる。
B男 3年	読みとること	学年相応の文を読んで、「いつ」「どこで」「だれが」「なにをした」にほぼ正しく答えることができる。
	書きあらわすこと	簡単な文の視写や聴写ができる。日記作文を書くことができる。思ったことや感じたことを2～3文で表すことができる。
C女 3年	読みとること	1～2文の簡単な文を読み、「だれが」「何を」「いつ」「どこで」「どうした」などを読み取ることができる。
	書きあらわすこと	絵を見て、2～3文字の物の名前をひらがなや片仮名で書くことができる。簡単な文の聴写ができる。
D女 4年	読みとること	1～2文の簡単な漢字仮名交じり文を読み、「いつ」「どこで」「だれが」「なにをした」にほぼ正しく答えることができる。
	書きあらわすこと	平仮名（清音、濁音）、片仮名、1年生の学習漢字の10文字程度を書くことができる。
E男 5年	読みとること	学年相応の文を読むことができる。語彙が少ないので、内容を正しく理解することは難しい。
	書きあらわすこと	簡単な作文を書くことができる。語彙が少ないので、長文を書くときは、教師の助言に頼ろうとする傾向が見られる。
F男 6年	読みとること	2年生の学習漢字の半数を読むことができる。イントネーションの間違が多い。4～5文を読んで、「いつ」「どこで」「だれが」「なにをした」にほぼ正しく答えることができる。
	書きあらわすこと	簡単な日記作文を書くことができる。様子や気持ちを詳しく書くことは、難しいことがある。

(2) 単元について

本単元は、説明書を読みとり、説明の通りに工作を作っていく学習である。

児童は、これまでも簡単な文を読んで「だれが」「いつ」「どこで」などを読み取る活動をしてきた。読み取る活動については、どの子も意欲的に集中して活動できる学習の一つである。

そこで、さらに文を読み取る力をつけていくことをねらいとし、文を読んで内容を理解し、自力解決を進め、作品を仕上げさせたい。読んだ文を理解することができる、作品が出来上がることで、文を読もうとする意欲が身に付き、内容を理解しようとする意欲も育ってくると考えた。また、出来上がった作品を使って遊ぶ時間を設けることで達成感を味わうことができると考えた。さらに、できた喜びや一緒に遊んだ楽しさが、心に湧きあがれば、感想を書く意欲につながると思われる。感想を書く場合はパターンを示して書かせることで、交流の学習の時でも自分で感想を考え、書くことができる力をつけさせたい。

(3) 指導について

「説明書」の入門編として、おもちゃの作り方の説明書を活用する。おもちゃを作って遊ぶことを目標にすることで、意欲的に学習に取り組むことができると考える。本学級の児童は、おもちゃを作るときは、だれかに作ってもらったり、作り方を教えてもらったりすることが多い。また、写真や絵があると、文を読んで考えることを怠りがちである。そこで、写真や絵の少ない「説明書」を使用し、自分で読んで作るようにさせたい。

「説明書」によく出てくる言葉は、今回を機に、身につけさせておきたいものである。そのため、辞書を引いたり、みんなで話し合ったりしながら、その都度、確認しておく。しかし、文を読んだだけでは、理解が難しい児童には、ヒントとして写真や絵を見せたり、途中までやって見せたりする。出来上がった時の喜びを大切にしたいので、ヒントを最大限に利用させ、必ずおもちゃが仕上がり、全員が遊べるように支援する。

感想は、楽しい気持ちが強いうちに書くことで、躊躇なく書ける体験をさせたい。自信をもって書くことができるようになることを願っている。

学習活動における個の到達段階の違いに応じた支援について、次のように考えた。

A 男は、直観力が働くので、文を読まなくても絵や写真を見れば、作り方がわかると思われる。できるだけ、文を読んで内容を考えるようにさせたい。「説明書」によく出てくる言葉については、上学年の児童の話の話を注意して聞くようにさせたい。感想のパターンを覚えたら、自力で書くように支援していく。また、漢字を使おうとしたときは、ほめ、漢字習得の意欲付けとしたい。

B 男は、進んで発言をしようとするのが少ないので、発言順もパターン化し、安心して手を挙げるができる環境を整える。また、辞書を引くことができるので、言葉の説明のときに活躍させたい。さらに、文字を丁寧に書くことに気を付けさせ、とめ・はね・はらいをきちんと書けた箇所を数えることで評価につなげたい。

C 女は、読みとることはできても、作業につなげるのが難しいと考えられる。読み終えるタイミングで「作ってみよう」と促す支援をする。また、自分で感想が書けるようにスモールステップで支援する。相談をせず、自力で書き進めたときは、多少の形式違いがあっても不問とし、自力で書いたことをほめて、自信をつけさせるようにしたい。

D 女は、読みとることを苦手としているが、力がついてきたので、自力で読みとりができるように見守りたい。ヒントに頼らずにできた時は、ほめて意欲付けとしたい。感想は、一人で書き進めていくことができると思われる。表記の際、長音や促音等を書き落とすことがあるので、書き終えた後、教師と一緒に読み返し、確認していきたい。

E 男は、自力で読み取っていけると思われる。そこで、言葉の説明や辞書で調べた言葉の発表で活躍させたい。また、感想を書くことに重点を置き、より詳しい作文に挑戦させたい。文がねじれないよう主語・述語を意識して書くように支援する。

F 男は、写真や絵をヒントとしながら、自力で読み取り、作業に移ることができるようにならせたい。「説明書」によく出てくる言葉について、しっかり理解させるようにする。また、感想は一人で書き進めていくことができると思われる。様子を表す言葉の語彙を増やせるよう、感想の言葉集をヒントカードとして準備する。

3 単元の目標

- ・簡単な説明文を読み取ることができる。
- ・簡単な感想を書くことができる。

目標に対する手立て

- A 男
- ・ 絵や写真をヒントにしながらい文を読みとり、おもちゃを作ることができる。
 - ・ 感想の書き方を知り、簡単な感想を書くことができる。
 - ・ 習った漢字を使おうと意識し、使うことができる。
- B 男
- ・ 工作の「説明書」によく使われる言葉を理解し、辞書を参考にしながら説明することができる。
 - ・ 文を読みとり、おもちゃを作ることができる。
 - ・ 丁寧な文字を書くように意識することができる。
- C 女
- ・ 絵や写真をヒントにして文を読みとり、支援を受けながらおもちゃを作ることができる。
 - ・ 感想の書き方を知り、簡単な感想を書くことができる。
- D 女
- ・ 絵や写真をヒントにしながらい文を読みとり、おもちゃを作ることができる。
 - ・ 感想の書き方を知り、簡単な感想を書くことができる。
 - ・ 表記を誤った場合には、直すことができる。
- E 男
- ・ 工作の「説明書」によく使われる言葉を理解し、辞書を参考にしながら説明することができる。
 - ・ 文を読みとり、おもちゃを作ることができる。
 - ・ 主語、述語を意識して文がねじれないよう気をつけながら、くわしく感想を書くことができる。
- F 男
- ・ 工作の「説明書」によく使われる言葉を理解し、辞書を参考にしながら説明することができる。
 - ・ 文を読みとり、おもちゃを作ることができる。
 - ・ わけを書き加えながら、感想を書くことができる。

4 単元の指導計画 (本時 6 / 8 時間)

段階	時	小単元	ねらい	主な学習活動	評価
見通す	1	「説明書」って、どんなもの？	・さまざまな「説明書」について興味をもち、見比べることができる。	・さまざまな「説明書」を見比べる。	・「説明書」を知ることができたか。
深める	2 3 4	「説明書」を読んでおもちゃを作り、遊ぶ。 ①～⑥ 本時 6 / 8 時	・「説明書」を読み、おもちゃ作りの手順を考えることができる。	・「説明書」を読み取る。	・進んで「説明書」を読むことができたか。
	5 6 7		C 女 ・言葉の意味を聞くことができる。 ・支援を受けながらおもちゃを作ることができる。 ・おもちゃで遊びながら、楽しい気持ちを感じることができる。 ・感想を書き、発表することができる。	・わからない言葉に印をつける。 ・意味が分かったら、みんなに広める。 ・読みとった手順の通りに、おもちゃを作る。 ・出来上がったおもちゃで、遊ぶ。	・言葉の意味を聞くことができたか。 ・必要に応じて支援を受けながらおもちゃを作ることができたか。 ・遊びながら、気持ちを表す言葉を考えることができたか。 ・元気な声で、感想を発表することができたか。
			A 男 ・言葉の意味を聞くことができる。 ・絵や写真をヒントにしておもちゃを作ることができる。 ・おもちゃで遊びながら、楽しい気持ちを感じることができる。	・感想を書き、発表する。	・言葉の意味を聞くことができたか。 ・絵や写真を参考にしながらおもちゃを作ることができたか。 ・遊びながら、気持ちを表す言葉を考えることができたか。

			<ul style="list-style-type: none"> 感想を書き、発表することができる。 		<ul style="list-style-type: none"> 学習した漢字を使って、感想を書くことができたか。
			<p>B男</p> <ul style="list-style-type: none"> 言葉の意味を考え、わからないときは、辞書で調べることができる。 文を読みながらおもちゃを作ることができる。 おもちゃで遊びながら、楽しい気持ちを感じることができる。 感想を書き、発表することができる。 		<ul style="list-style-type: none"> 調べた言葉の意味を発表することができたか。 「説明書」を見て、おもちゃを作ることができたか。 遊びを通して、気持ちを表す言葉を考えることができたか。 丁寧な文字で感想を書き、発表することができたか。
			<p>E男</p> <ul style="list-style-type: none"> 言葉の意味を考え、わからない言葉は、辞書で調べることができる。 <p>F男</p> <ul style="list-style-type: none"> 文を読んで理解し、おもちゃを作ることができる。 おもちゃで遊びながら、楽しい気持ちを感じることができる。 感想を書き、発表することができる。 		<ul style="list-style-type: none"> 調べた言葉の意味を発表することができたか。 「説明書」を見て、おもちゃを作ることができたか。 遊びながら、気持ちを表す言葉を考えることができたか。 詳しく感想を書くことができたか。
まとめ	8	作ったおもちゃで遊ぼう。	<ul style="list-style-type: none"> 使い方を説明し、作ったおもちゃで遊ぶことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「さくら」に遊びに来た児童を誘って、遊ぶ。 おもちゃを貸し、使い方を説明しながら一緒に遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> おもちゃで、楽しく遊ぶことができたか。

5 本時の指導 (6/8)

(1)本時の目標

- A男
 - 絵や写真を参考にして、文を読みながらおもちゃを作ることができる。
 - 習った漢字を使って感想を書くことができる。
- B男
 - 言葉の意味を発表することができる。
 - 「説明書」を参考にしながらおもちゃを作ることができる。
 - 丁寧な文字を書くように意識することができる。
- C女
 - 支援を受けながらおもちゃを作ることができる。
 - 感想を書くことができる。
- D女
 - 絵や写真を参考にして、文を読みながらおもちゃを作ることができる。
 - すすんで感想を書き、読みなおすことができる。
- E男
 - 言葉の意味を発表することができる。
 - 「説明書」を参考にしながらおもちゃを作ることができる。
 - 詳しく書くことを意識しながら、すすんで感想を書くことができる。
- F男
 - 言葉の意味を発表することができる。
 - 「説明書」を参考にしながらおもちゃを作ることができる。
 - 感想の言葉を数種類使って、感想を書くことができる。

(2) 具体の評価規準

児童	(+) の規準	(-) の際の支援
A 男	<ul style="list-style-type: none"> ・絵や写真を参考にし、自分でおもちゃを作る。 ・習った漢字を意識して感想を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・説明文を読んで聞かせ、実演してみせる。 ・既習漢字の表を示す。
B 男	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉の意味を発表する。 ・丁寧な文字で感想を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・挙手がないときは、上学年から順に指名して、話しやすい環境にする。 ・とめ・はね・はらいのよくできている部分をほめる。
C 女	<ul style="list-style-type: none"> ・「説明書」を読んで、作業に取り掛かる。 ・感想を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・次に進むヒントを提示する。 ・書く内容を教師と一緒に考える。
D 女	<ul style="list-style-type: none"> ・絵や写真を参考にし、自分でおもちゃを作る。 ・すすんで感想を書き、読む練習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・説明文を読んで聞かせ、実演してみせる。 ・一文字ずつ指し示しながら、読ませる。
E 男	<ul style="list-style-type: none"> ・文脈に合った言葉の意味を発表する。 ・自分からすすんで感想を詳しく書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・辞書の文を教師と一緒に読み、じっくり考えるように促す。 ・自分で考えることが大切であることを話し、励ます。
F 男	<ul style="list-style-type: none"> ・「説明書」を読んで集中しておもちゃを作り完成させる。 ・言葉の意味を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・最後まで仕上げることができるように励ます。 ・五十音表を見せて、辞書を引く手助けをする。

座席

A 男 2年	C 女 3年	D 女 4年
-----------	-----------	-----------

F 男 6年	B 男 3年	E 男 5年
-----------	-----------	-----------

(3)展開

段階	学習活動	・教師の関わり方 (○個への支援) ◎評価						備考
		A男	B男	C女	D女	E男	F男	
見通す5分	☆ 絵本の読み聞かせを聞く。							学習材
	1 本時の学習課題を知る。 「説明書」を読んで、おもちゃを作ろう。	・学習課題とおもちゃの完成品を提示し、活動の見通しをもたせる。						
深める	2 学習材を読む。	・教材文を読ませ、難しい言葉の意味を確かめさせる。						学習材
	3 おもちゃを作る。	○サンプルの観察を促す。 ○言葉の意味を聞くように促す。	○言葉の意味を辞書で調べ、発表できるように促す。 ◎発表することができたか。	○サンプルの観察を促す。 ○言葉の意味を聞くように促す。	○サンプルの観察を促す。 ○言葉の意味を聞くように促す。	○言葉の意味を辞書で調べ、発表できるように促す。 ◎発表することができたか。	○言葉の意味を辞書で調べ、発表できるように促す。 ◎発表することができたか。	
35分	4 おもちゃを使って遊ぶ。	・教材文を参考にさせながら、おもちゃを作らせる。先にできた児童には、手伝わせる。						感想の言葉集
	5 感想を書き、発表する。	○文をきちんと読むように促す。 ◎絵や写真を参考に、文を読み取っておもちゃを作ることができたか。	○文を読みながら作るように見守る。 ◎説明書を読み取っておもちゃを作ることができたか。	○実際に作業の様子を見せて作らせる。 ◎説明書を読み取っておもちゃを作ることができたか。	○文をきちんと読むように促す。 ◎絵や写真を参考に、文を読み取っておもちゃを作ることができたか。	○文を読みながら作るように促す。 ◎説明書を読み取っておもちゃを作ることができたか。	○文を読みながら作るように促す。 ◎説明書を読み取っておもちゃを作ることができたか。	
振り返る5分	6 振り返りをする。	・おもちゃで遊ばせる。						ワークシート
	7 次時の学習について知る。	○楽しい気持ちを言葉で確認させる。 ・感想を書かせ、発表させる。						
		○習った漢字を意識して書くようにすすめる。 ◎漢字を使って感想を書くことができたか。	○丁寧な文字で書くことができたか。 ◎丁寧な文字で書くことができたか。	○すすんで書くように促す。 ◎感想を書き、発表することができたか。	○すすんで書くように見守る。 ◎すすんで感想を書くことができたか。	○詳しく書くように励ます。 ◎感想を詳しく書くことができたか。	○感想の言葉をたくさん使うように声掛けをする。 ◎感想の言葉を2種類以上使って書くことができたか。	
		・本時について振り返らせる。						
		・次時の学習について話をする。						